

MRI 検査

MRI(Magnetic Resonance Imaging : 磁気共鳴画像)検査室では、各診療科からの要望に応じて最適な撮像を行い、医師の診断に役立つ画像情報を提供しています。MRI は強力な磁場を利用しており、装置の構造上患者様には狭い空間で大きな音に耐えながら検査を受けて頂くことになります。我々放射線技師は看護師や医師と協力し、安全を第一に考え、可能な限り患者様の不安を減らし、安心して検査を受けられるよう日々努めています。



始業・終業点検

検査開始前に MRI 装置の動作確認や点検などを行い、装置の品質管理に努めています。また、検査室や装置のアルコール清拭を行い、清潔な環境を保っています。終業時には備品の補充などを行い翌日の検査に備えます。



入室前の確認

MRI 検査室内に金属類を持ち込むことはできません。患者様には安全のため検査着に着替えていただきます。同意書と問診表を元に体内金属デバイスの有無や安全性を確認し、必要に応じて MRI 専用プロテクターを使用します。



検査室での配慮等

騒音に対して、聴覚保護のためにヘッドホン装着します。また、BGM を流すことで患者様の不安解消に努めています。閉所恐怖症の方には、少しでも恐怖心を和らげるために、ガントリー(トンネル)径の大きな装置がある検査室へご案内するようにしています。



画像の撮像・後処理・検像

患者様の状態に合わせて、最適な条件で撮像しています。撮像後、必要に応じて画像処理を行い、画像の最適化を行います。診療放射線技師が撮像した画像を複数回検像し、画像サーバーへ転送保存しています